

松山空港将来構想 概要

① 松山空港の将来像

将来像

地域の賑わいを創出する えがお 愛顔あふれる空港



② 松山空港の現状と課題

担うべき役割

ギャップ

現状

課題

新たな航空・空港需要の創出

- ・需要の減少・多様化への柔軟な対応
- ・地域・空港間の競争における競争力としての愛顔らしさの発揮
- ・広域需要を十分に創出するための四国・中国地域、近隣空港との連携

専門的な誘致体制の構築

- ・路線誘致を効果的に実施するための機動的な営業活動、エアラインとの長期的な関係構築、専門的な知見の蓄積
- ・マーケティングに基づく戦略的な誘致方策の検討

空港の魅力・利便性向上

- ・駐車場の混雑が発生しているが、制度上、駐車場等の受入環境を柔軟に改善することが難しく、結果的に空港の非旅客増加によるさらなる活性化が困難
- ・多様化するニーズへの適切な対応と利用者満足度の向上
- ・空港からの県内外へのアクセスが限定的

円滑な受入体制の整備

- ・就航要請に柔軟に対応するための空港関係者の連携体制の構築
- ・人材確保に向けたハード・ソフトでの柔軟な施策の実施
- ・長期的な視点での受入体制整備に向けた課題解決

③ 将来像の実現度を測るための指標（KGI）及び取組みの方向性

中長期目標

中四国No.1の利用者数及び路線数を目指す

短期目標 (令和12年度)

利用者数 317万人（国内線279万人、国際線38万人）

路線数 13路線（国内線8路線、国際線5路線）

参考）令和6年度（着地予想）

利用者数：300万人

（国内線270万人、国際線30万人）

路線数：10路線

（国内線7路線、国際線3路線）

1. 航空ネットワークの維持・拡充

全体

- ・交流拠点としての利用圏域拡大やインバウンドの県内市町への誘客促進に向け、四国・中国地方の他空港や県内外の地方公共団体、観光関連者等との連携強化
- ・LCCを活用した需要の拡大、LCC誘致に向けたビル施設機能の強化
- ・路線の復便・増便に向けた受入体制の強化
- ・官民連携のエアポートセールス体制の構築
- ・県民利用の喚起、インバウンド旅客の周遊観光利用を促進
- ・札幌、仙台、関西、九州方面の新規路線の誘致活動
- ・リスク分散を考慮した戦略的な路線誘致
- ・東南アジア等の新規路線開設に向けた誘致活動

3. 多様な空港アクセスの実現による利便性向上

- ・空港活性化に向けた駐車場の混雑の解消
- ・空港リムジンバスと県内外各方面への異なる交通モードとの乗継利便性を向上させ、円滑な旅行を提供
- ・県民の空港アクセス利便性を向上し、公共交通機関の利用促進により脱炭素化社会に貢献
- ・将来需要や利用実態を踏まえたハード・ソフト両面での柔軟な施策展開
- ・愛媛県における空飛ぶクルマの社会実装に向けて空港の役割を明確化

2. 愛顔らしさによる空港の魅力向上

- ・豊かな自然・食といった愛顔らしいコンテンツを意識した空港の魅力づくり
- ・空港における愛顔の魅力発信拠点化
- ・国際線旅客ビルの第2期整備を通じて魅力ある愛顔のアイデンティティを表現し、地域に愛される施設づくりを実現
- ・航空旅客の利便性とバランスを取りながら、空港における賑わいを創出
- ・情報のバリアフリー化や旅客手続きの効率化に向けた技術導入
- ・働き手を含む利用者のための旅客ビルの施設機能の改善

4. 地域のレジリエンス強化への貢献

- ・大規模災害時に滞留者の安全・安心を確保し、空港機能を早期に回復させ、支援拠点として適切に機能すべく、定期訓練を通じた「松山空港A2-BCP」の実効性の向上
- ・令和32年度のカーボンニュートラル達成に向けて、空港基本施設を中心に進められている脱炭素化の取組みを関係者が一体となって推進

④ 将来像の実現に向けた今後の進め方

1. コンセッション方式の導入可能性の確認

- ・「将来像」を実現していくため、推進体制の改革が必要
- ・望ましい推進体制を構築するにあたり、空港の各施設の運営主体を一体化し民間事業者が効果的に運営することが可能となるコンセッション方式は有効な手段
- ・そのため、県は、コンセッション方式の導入可能性を判断する材料として、空港管理者である国土交通省に資産調査を要望し、導入について検討を進めることが望ましい

2. 将来像の実現に向けた機運醸成と合意形成

- ・県は、「地域のために空港をどのように活用すべきか」という視点を持って、地域と空港の一層の活性化に向けた地域全体の機運醸成や合意形成を促進
 - ・県は、将来像の実現に必要な環境づくりや地域の要望等を整理し、主体的かつ着実に取組みを推進することが望ましい
- 〔中長期的な推進体制のイメージ〕

